

1. 授業の概要(ねらい)

第一に、イノベーションとは何かを、複雑な社会経済システムの成長の仕組みとして、前期に続きその本質を説明します。特に、グローバルリスクの問題解決というイノベーションの新たな使命について理解を深めます。

第二に、世界の歴史に注目し、人間、組織、国家のそれぞれのレベルで、大きな変革が、なぜ、どのように起こり、どうなったか、について知識を深めます。また、学習の時間軸を人類の一万3千年の歴史から、直近では、日本の近代化150年、戦後70年等異なる観点でみて、上記の学習を行います。

第三に、後期においては、イノベーション論で学習した知識を総合して、社会経済の問題解決として変革が必要な領域と、それを経営する技術を学習していきます。

尚、領域として「自動車等社会インフラのイノベーション」「金融のイノベーション」「社会経済組織のイノベーション」を後期に講義をします。(知識・情報、エネルギー、医療・バイオは前期で講義)

後期講義では、中間と最終にレポート課題があり、その一部の受講者によるプレゼンテーション、全体での討議もあります。尚、将来、新たな事業を興すリーダーになるため、また、家業の事業を継ぐ可能性がある学生は、イノベーションを興していく様々なテクノロジーは企業経営の中核の知識ですので、本講義の受講を特に薦めます。

2. 授業の到達目標

イノベーションとは何かを、その本質的な仕組みの説明、映像記録視聴及び事例学習から、興味ある領域について具体的に理解し、説明できるようになること。

自分で取り上げた分野のイノベーションにつき、過去の歴史を分析し、その理解をまとめ、説明できるようになること。

これらの知識を持って、技術革新とその導入による功罪の側面をも理解し、問題解決のためのイノベーションにつながる事業創出を行う考え方を理解すること。

3. 成績評価の方法および基準

授業で提示する課題に対するレポートの提出結果及び最終レポートによる試験(40%)。授業での発表・ディスカッションへの積極的な参加と貢献(30%)。出席等授業態度にみられるdiscipline(訳注:決められたことをそれが辛かろうが妥協せずに実行する強い姿勢・自制心・自己鍛錬)(30%)。これらを総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

ジャレド・ダイヤモンド著 『銃・病原菌・鉄』上・下 (草思社文庫)

ウィリアム・H・マクニール著 戦争の歴史 上・下 (中公文庫)

『イノベーションの世紀』シリーズ(一橋大学イノベーション研究センター、ビデオ)

参考文献

参考資料は実習指導の際適宜配布する。

中田力著 『科学者が読み解く日本建国史』 (PHP選書)

中田力著 『穆如清風 複雑系と医療の原点』 (日本医事新報社)

『イノベーションのジレンマ』、『イノベーションへの解』、『イノベーションの最終解』(クレイトン.M.クリステンセンの著作物)

一橋大学イノベーション研究センター編 『イノベーション・マネジメント入門』 (日本経済新聞社)

ジャレド・ダイヤモンド著 『危機と人類』上・下 (日本経済新聞社)

5. 準備学習の内容

『銃・病原菌・鉄』(ジャレド・ダイヤモンド著、草思社文庫)は授業のディスカッションで使用しますので、購読して下さい。人類の1万3千年のイノベーションの生成のメカニズムに関する興味深い著作物です。

6. その他履修上の注意事項

日本経済新聞を読み興味ある記事を見つけるようにしてください。文科系・理科系の意識にとらわれることなく、科学・技術にも大いに興味を持って、学習願います。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション、総論 複雑な社会経済システムの扱い方とイノベーション

【第2回】 イノベーションの理解 / いろいろな時間軸・領域によるイノベーションの歴史分析

【第3回】 社会インフラとイノベーション / 自動車産業の現状と未来

事例: ルノー・日産とカルロスゴーン

【第4回】 現場から 外部招聘その1: 人間とイノベーション(脳科学者の視点から)

【第5回】 金融技術のイノベーションと歴史と現状(1)

エレクトリックマネー / その発明と革新、金融市場の興隆

【第6回】 金融技術のイノベーションと課題と将来(2)

銀行の未来図、金融先端技術の動向

【第7回】 サービス産業のイノベーションと課題と将来 事例: ファーストリテイリングの革命

【第8回】 オンライン講義 現場から 外部招聘その2: 企業経営者の視点から①

【第9回】 イノベーションと組織運営 事例(企業・産業編) (2)

【第10回】 イノベーションと組織運営 事例(国家と人) (3)

【第11回】 イノベーションの歴史と課題(文明編)

【第12回】 現場から 外部招聘その3: 企業経営者の視点から②

【第13回】 イノベーションと歴史と課題(経済発展・南北問題編)

【第14回】 日本の課題とイノベーション

【第15回】 イノベーション論 (まとめ)